

馬産地ライター村本浩平の 2022 スタリオンシリーズ競走種牡馬名鑑

Vol. **2** | **6.28[火]** ▶ **8.4[木]** 開催分



6.28
[火]

モズアスコット賞

【栄冠賞(H2)】

モズアスコットは現役時に26戦7勝。主なタイトルにはGI安田記念、GIフェブラリーS、GⅢ根岸Sがあります。「二刀流」の認知度が高まっている現在ですが、芝のマイルGIとダートのマイルGIの双方を制したその活躍は、まさに競馬界の「二刀流」。しかも安田記念は連闘での勝利であり、初のダート戦となった根岸Sでの重賞勝利と、規格外の能力を証明しました。父Frankelは昨年の英愛リーディングサイアーであり、世界各国でGI馬を輩出。芝、ダートを問わない活躍や、その血統背景もあって、種牡馬入り初年度となった昨年は167頭の繁殖牝馬に配合を行っています。

7.5
[火]

タワーオブロンドン賞

【グランシャリオ門別スプリント(H2)】

タワーオブロンドンは現役時に18戦7勝。主なタイトルにはGIスプリンターズS、GⅡセントウルSがあります。馬名の由来はイギリスの「ロンドン塔」ですが、それも父Raven's Passは英G1クイーンエリザベス二世Sを優勝。母スノーパインはイギリス産馬という血統背景からも納得のいくところ。芝のスプリンターとしての競走実績もさることながら、種牡馬としても評価すべきは、現役時は2度に渡ってレコードを樹立したスピード能力の高さ。2021年からダーレー・ジャパン スタリオンコンプレックスで種牡馬入りしており、134頭の繁殖牝馬を集める人気ぶりです。

7.7
[木]

ダノスマッシュ賞

【ノースクイーンカップ(H2)】

新種牡馬

ダノスマッシュは現役時に26戦11勝。主なタイトルにはGI香港スプリント、GI高松宮記念があります。香港スプリントを連覇するなど、GI6勝をあげたロードカナロアの初年度産駒でもあり、芝のスプリント戦線に戦いの場を移してからは、重賞を総なめにするような活躍を見せていきます。5歳時の香港スプリントではレース史上では初めてとなる、ロードカナロアとの親子制覇を達成。6歳時の高松宮記念も優勝し、2度目の親子GI制覇を果たしました。今シーズンからブリーダーズ・スタリオン・ステーションで繋養。種牡馬としても偉大な父の後を追っていきます。

7.14
[木]

アメリカンペイトリオット賞

【フルールカップ(H3)】

アメリカンペイトリオットは現役時に14戦5勝。主なタイトルにはGIメイカース46マイルS、GⅢケントSがあります。その競走成績もさることながら、北米を代表する名種牡馬War Frontの後継種牡馬としても注目を集め、繋養初年度となる2018年の種付け頭数は154頭。セリ市場での高い評価も受ける形で、2021年には186頭の繁殖牝馬を集めてみせます。産駒も期待の高さに応えるかのように、芝、ダートだけでなく、距離も問わない活躍を見せていた中で、今年のスプリングSをビーアストニッシュが優勝。地方でもプライムデュークが中京ペガスターCを制しています。

7.21
[木]

ノーブルミッション賞

【星雲賞(H2)】

ノーブルミッションは現役時に21戦9勝。主なタイトルは英チャンピオンS、サンクルー大賞があります。全兄は2021年の英愛のリーディングサイアーの座に就いたFrankel。そのFrankelは芝のマイル戦を中心に活躍を見せましたが、ノーブルミッションが頭角を現したのは芝の中距離戦でした。引退後は先にアメリカで種牡馬入りした後、2021年シーズンから日本軽種馬協会静岡種馬場で繋養を開始。その年は128頭の繁殖牝馬を集めています。初年度産駒のCode of HonorがGIトラヴァースSを優勝するなど、産駒は世界各国で重賞を沸かせる活躍を見せています。

7.28
[木]

シニスターミニスター賞

【ブリーダーズゴールドジュニアカップ(H1)】

シニスターミニスターは現役時に13戦2勝。主なタイトルにはGIブルーグラスSがあります。2008年からアロースタッドで種牡馬入りを果たすと、3年目産駒のインカンテーションがGⅢレパードSを含めて、ダート重賞で6勝をあげる活躍。その後もヤマニンアンプリメがJpnIJBCレディスクラシックを優勝。2021年はテーオーケインズがJpnI帝王賞とGIチャンピオンズCを優勝し、その年のJRA最優秀ダート馬にも選出。ドライスタウトもJpnI全日本2歳優駿を圧勝する活躍もあって、この年のダート総合サイアーランキングでは、自己最高位の3位となっています。

今シーズンは
特別競走14レースも
「スタリオンシリーズ競走」
として開催!

- 門別6回
- 門別6回
- 門別7回
- 門別8回
- セイウンコウセイ賞 新種牡馬
- キセキ賞 新種牡馬
- クリエイターⅡ賞
- エスポワールシチー賞

「スタリオンシリーズ競走」は、一般社団法人JBC協会(ジャパンブリーダーズカップ協会)が産地の支援を得て、優勝馬の馬主や生産牧場に種牡馬の翌年種付権利を副賞として贈呈する競走です。
※生産牧場が海外の場合は付与対象外となります。

